

新生(社)始良市シルバー人材センター始動

◆始良市誕生

始良町、加治木町、蒲生町の三町合併が、紆余曲折を経て、新合併特例法の期限切れ直前でようやく実現し、本年三月二十三日めでたく始良市誕生の運びとなりました。

もともと三町は、地理的・歴史的に結び付きが深く、まちづくりや日常生活の中で互いに影響しあってきましたので、合併はスムーズに進むと思われていました。

ところが三町間の合併協議は難航し、二度も破綻して白紙に戻る有様に、住民には諦めムードもありましたが、関係者の粘り強い努力によって所期の目的が達成できたことは、同慶の至りです。

新生始良市は人口約七万五千人となり、様々な分野での特性を活かして、これから県の中核的都市として大きく発展していく可能性を秘めており、今後のまちづくりに期待が膨らんでいます。

◆センターの統合

らんでいます。

三町の合併に伴い、それぞれのシルバー人材センターは必然的に統合することになりました。早速、三センター間で事前打合わせを行い、統合は「至上命令」と受けとめ、必ず実現させるため一致協力して推進することを確認しました。理事長、町の担当課長など十五名で構成する統合協議会を設置し、決定すべき主要事項について、都合四回の会議を用いて協議、検討を行いました。その中で、最優先事項である統合の方法について「始良町センターを存続し、加治木町センターと蒲生町センターは解散して編入する」方式に決まったことで、その後の事務手続き等を円滑かつ迅速に進めることができました。その他の事項についても、統合協議は幸い混乱もなく順調に進

捗しましたが、その要因として、三センターが平等・対等の立場で、相手の立場を尊重しながら臨んだことが挙げられるのではないかと思います。ともあれ、今後の事業運営に禍根を残すようなこともなく、円満に統合できたことは何よりでした。



◆新センターの課題

新生(社)始良市シルバー人材センターは予定通り本年四月一日から始動していますが、その前途は課題山積と言ってよいでしょう。しかし、関係者が英知を集め全力を尽くせば

途は自ら開けるものと希望をもって取り組んでおります。

初年度の事業計画では、数値目標として会員数七百名、契約金額三億円、就業率九十%、事故件数0などを掲げていますが、究極の目標は会員のセンターに対する満足度を100%にすることです。

これまで、シルバー事業では、量的な発展を重視してきましたが、これからは質的な発展に力点を置くべきだと考えています。特に大事なことは「自主、自立」の理念を具体的に実現することです。自分のこととして考え、自分たちの力で育てる精神を役員・会員一人ひとりに浸透させる必要があります。まずは隗より始めよで、役員が意識を変えて、執行機関としての役割と責任を自覚し、自主的に活動してセンター運営のイニシアティブを取るよう改革を進めております。

今、センターにとっては、質的な発展が最も重要であり、そのために基本理念の理解者、実践者をどのように増していくか、これが最大の課題といえます。